



全力を尽くす、思いやる。フェアプレーの気持ちで力がちからになる

高田真希選手 女子バスケットボール 東京2020オリンピック銀メダリスト



を支えたのがチームワークでした。キャプテンを務めた高田選手は、二人でも悩んでいたチームワークに影響するので、選手一人ひとりに目配りし声をかけながら、チームをまとめることを意識していました。ね」と話してくれました。そして、自ら明るく前向きな姿勢を示すことでチームの雰囲気を作り出していったそうです。

チームをまとめる姿勢は、国内でのリーグ戦などの試合にも現れているようです。「バスケットボールはひとつのボールを繋ぐ競技です。上手くいかない時でも励まし、チームメイトがミスを恐れずに自信を持ってプレーできるように心がけています」と高田選手。チームメイトを思いやる気持ちはフェアプレーであると同時に、チーム力を高めるためにも生かされているのです。



「フェアプレー宣言」しました!!

スポーツものしりクイズ

バスケットボールでゴールの上からボールを叩き込むように入れるダンクシュート。ダンク(dunk)ってどういう意味でしょう?

A 強烈な B 叩く C 浸す

【答え】C

ボールをゴールの上から入れる様子を、コップに入ったミルクにパンやドーナツを上から浸す(ダンク)仕草に見立てて、ダンクシュートと呼ぶようになりました。

挑戦を称えあう仲間たちへ女子スケートボード〈岡本碧優選手〉

東京2020オリンピック スケートボード 種目女子パーク

この種目は3本滑りの中の最高得点で順位を決める

予選を1位通過した岡本選手だが、決勝では2本を終えて4位

4 Okamoto Misugu

おかもと みすぐ せんしゅ 岡本碧優選手

成功率高い技で3位以内を狙うか

限界に挑戦して金メダルを狙うか

決勝3本目

(アナウンサー) 限界まで攻めますね!

最後の技で失敗

その瞬間、悔し涙があふれ出した

泣いていた岡本選手の表情がほれた

挑戦する勇氣とそれを称え合う行動が

勝敗を超えたスポーツの価値を教えてくれた

そんな岡本選手に各国の選手たちが駆け寄り果敢な挑戦を称えた

このシーンに世界中から感動の声が発せられた

「ライバルの垣根なく岡本選手の元集まり抱きかかえ持ち上げる姿にウルッとしました」

「国籍関係なくハグし合う様子が思わず泣きそうになった」

